

第11回辻堂市民センター・公民館建設検討委員会 議事概要

開催場所： 辻堂市民センター ホール

日 時： 平成28年10月26日（水曜日）

午後1時30分～3時50分

出席

委員

松本喜夫（辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会）
関岡壽夫（辻堂まちづくり会議）
小川雄二郎（辻堂地区防災協議会）
野中富央（辻堂地区社会福祉協議会）
松原和憲（建設地近隣町内会代表（県公社辻堂西海岸自治会））
金子節子（辻堂公民館評議員会）
井出秀治（市民自治部）
池田 潔（辻堂市民センター）
村田裕治（生涯学習総務課）
守屋文雄（総合市民図書館）
鈴木真也（消防総務課）

事務局

大岡誉和（市民自治推進課）
柏崎浩通（市民自治推進課）
鈴木優司（辻堂市民センター）

その他

栢沼宏二郎（公共建築課）
塩野充彦（公共建築課）
椎谷楯行（公共建築課）
村上祐 （公共建築課）
斎藤啓介（国設計）
中川敏哉（国設計）
小坂貴志（国設計）

欠席

林 宏和（市民自治推進課）
福祉総務課
高齢者支援課
教育総務課

配布資料

1. 次第
2. 資料1 前回の検討事項確認
3. 資料2 諸室の内容等
4. 辻堂市民センター・公民館建て替えに向けたアンケート調査結果

注)(地域委員)は地域代表等委員、(市委員)は市関係課委員、(事務局)は検討委員会事務局、(その他)は公共建築課、設計会社等

1 開会

- ・司会を松本委員から関岡委員に変更する。

2 市民自治部長あいさつ

先月、基本構想説明会を開催し、一定程度は理解いただいたと考える。設計業者も決まって、本格的な設計業務に入り、今後は、基本構想をベースにブラッシュアップしていく。引き続き委員や設計業者皆様には協力をお願いしたい。

3 「辻堂市民センター改築設計委託」受託者の紹介(株式会社国設計)

- ・国設計自己紹介 中川、斉藤、小坂、鈴木
- ・公共建築課自己紹介 栢沼、村上

4 議題

(1) 前回の検討事項の確認について

- ・資料1のとおり

(2) 諸室の内容等について

- ・諸室関係各課の説明は資料2のとおり
- ・各諸室についての意見は以下のとおり。

ホール

(地域委員) 舞台は下がるような設計になっているのか。下がらなくても200人入れる広さなのか。

(事務局) 舞台の使う頻度や奥行き、高さ、必要性についても検討が必要になる。現在のホールの舞台の高さは60cmぐらいで、六会は45cmくらい。低いと同じくらいの目線になるので広く感じるし、高いと周囲から良く見える。電動式は壊れたり古くなると動かなくなって困ることも考えられる。

和室

(地域委員) 高齢者は畳に座れない方も多いので、和机だけでなく配慮が必要。

(地域委員) 水屋は欲しい。

(地域委員) 和室について、高齢者はイスの方がいい人も多い。砂山市民の家には、和室を造らなかった。お茶をするには、和室でなく靴を脱いだフローリングでよいのでは。

(地域委員) 和室は小さくなくてよいので、1つ設けたらどうか。水屋はほとんど使っていないので不要だと思う。

(市委員) 各センター・公民館は各地区の防災拠点になっており、台風時等の避難者は、最初に和室に案内している。避難者もくつろげる。

(市委員) 他の公民館にも和室はあり、善行センター改築でも和室を考えている。どこまでの機能を求めるのか要望いただき検討が必要。

保育室

- (地域委員) ベビーカー置き場、靴脱ぎエリアにスペースが必要
- (地域委員) 幼児用トイレは、実利的な意味だけでなく、子どもを育てる教育の一環としても必要。

談話室

- (地域委員) 掃除用具入れは、廊下等に設置し共同で全フロアで使えれば管理がしやすいのでは。
- (市委員) 共同用具とした場合、1つの部屋の利用者が一斉に利用してしまう心配があるが、各室に配置するか共同利用するかは、今後検討していければよい。
- (市委員) 音楽サークルが同一時間で公民館を利用する場合、談話室を利用することもあるだろうが、談話室の仕切りの防音性はどの程度のものか。
- (その他) 仕切りは様々な種類があり、防音性能の高い仕切りを使えば防音効果は高い。
- (地域委員) 現在の壁で仕切られた部屋でマイクを使ってもハウリングがあるので、仕切りの防音性能を求めすぎるとも疑問がある。
- (地域委員) 音漏れには配慮が必要になる。

実習室

- (地域委員) 実習室は、砂山市民家にもある。砂山市民の家を統合して公民館管理とし、新施設には調理場を造らない考え方もできる。
- (地域委員) 社会福祉協議会での調理室利用は、年間16回程度
- (地域委員) 明治公民館など他の調理室も見たいうで検討したい。

音楽室

- (地域委員) 電子ピアノとあるが、他公民館と同じ普通の音楽室との考え方が。
- (市委員) そのとおり。グランドピアノは維持管理に難がある。

図書室

- (地域委員) 160㎡あれば、図書室の要望事項は達成可能か。
- (市委員) 可能である。

地域交流スペース

- (市委員) 音を出すような使い方をするか。
- (地域委員) お年寄りが集まって談笑のできる場所にしたい。
- (市委員) 公共施設の中で公共的ルールとしての一般常識的な使い方になるだろう。

その他

- (地域委員) 子育て支援センターを市民センターに設置するのか。
- (事務局) 子育て支援センターは、辻堂、六会、藤沢、湘南台の市内に4箇所ある。市の子ども青少年の部門で、さらに増やしていく計画は聞いていない。
- (地域委員) 砂山市民の家を市民センターが管理するのはどうか。
- (地域委員) 人口は減少していくのだから、維持管理費も考え、5年10年先を見越して計画するべき。
- (事務局) 市民センターと市民の家が隣接するのは初めてのケースとなる。ともに市の施設として、合理化や管理方法は今後の課題となる。

(地域委員) 南側道路について、敷地内側にさらにセットバックする必要があるのでは。周辺住民との兼ね合いもあり配慮が必要と感じる。

(地域委員) 辻堂市民センターの持つべき防災性機能とはどのようなものであるかを検討するべき。

基本構想が確定した段階での残された課題について

考慮すべき自然災害とその被害について

市民センターの防災性機能について

福祉避難所として備えるべき機能について

災害から市民の生命を守る機能

市の現地対策本部機能

災害支援を受ける拠点

2階以上に避難スペースを設置し、車いす等考慮しスロープでのアクセスについて

階段は、車いすを両側から抱えて歩ける幅について

福祉避難所としてのさまざまな備品類について

井戸、医療用コンセント等の設置について

福祉避難者と一般避難者の分離の必要性について

貯水槽の検討について

災害現地対策本部となる部屋の必要性について

外部から支援にくる団体への部屋の提供について

(地域委員) 辻堂は、災害プラス津波への配慮が必要

(地域委員) 木造密集地帯が、茅ヶ崎から辻堂まで続いている。

(地域委員) どのくらいの備品を備えるかで、防災倉庫の大きさも決まってくる。

(地域委員) 防災で、すべて整っていることは無理なので、福祉避難所としての設備が整った施設を目指してもいいのでは。

5 その他

(1) 建て替えに向けたアンケート調査結果について

資料 辻堂市民センター・公民館建て替えに向けたアンケート調査結果報告記載のとおり

・検討項目を整理し、委員会で検討する。

(2) 市ホームページ等での情報提供について

・HPの場所

辻堂市民センターHPとする。市民自治推進課、地域ポータルサイトからリンクを貼る。

・掲載内容

全体説明会 説明会の開催案内(日程、場所、チラシ等)

説明会の概要(検討した項目、決まったこと等)

9月22日説明会開催分から掲載

配付資料(回収したもの、スライドだけのもの等を除く掲載可能な資料)

Q & A 包括的に

建設検討委員会 建設検討委員会の年間予定等(非公開を明記し、会議録等は掲載しない)

(3) その他

今年度の年間スケジュール

・資料1裏面のとおり

(地域委員) 元神奈川県職員住宅の現状日影の調査と高砂交差点交通量調査はできるか。

(市委員) 現状日影は取り掛かることができる。高砂交差点調査は、これからとなる。

(市委員) 11月8日頃に、サークル団体や包括支援センター、ボランティアセンター等と意見交換会を行いたい。

(まとめ)

- ・基本構想をベースに、細かいところは今後つめて進めていく。
- ・配置、階段等のスペース取りの検討が今後必要になる。
- ・市民の家との考え方の整理も今後必要となる。

次回日程

2016年(平成28年)11月11日(金)午後1時30分